

授業科目 NO. 616 皮膚科学看護論

Dermatological Nursing

授 業 の 形 態 : 講義

単位数 (時間数): 1 単位 (15 時間)

開講年次・学期: 4 年次・前後期

必修・選択の別: 選択

キ ー ワ ー ド : スキンケア、創傷治癒過程、皮膚アセスメント、皮膚障害

1 金沢医科大学看護学部への到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 習 目 標

1) 一般目標 (GIO)

臨床に即したスキンケアの実施につなげるために、健康な皮膚と創傷治癒過程について解剖学的・生理学的・分子生物学的に理解したうえで、皮膚のアセスメントで利用する機器の計測原理の理解と操作を行う。臨床にて遭遇する可能性の高い褥瘡、スキナーテア、ストーマ周囲皮膚障害、失禁関連皮膚炎といった皮膚障害の発生メカニズムと国内外の最新のケア方法について、科学的な根拠に基づき理解する。さらに、事例の皮膚障害の適切なアセスメントと最良のケア方法を探究し、その手技を修得する。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 健康な皮膚と創傷治癒過程について、解剖学的・生理学的・分子生物学的な視点から説明できる。 (②)
- (2) 皮膚のアセスメントで利用する機器の計測原理が説明でき、さらに操作方法を説明できる。 (②)
- (3) 褥瘡、スキナーテア、ストーマ周囲皮膚障害、失禁関連皮膚炎といった皮膚障害の発生メカニズムと最新の予防・管理方法について、科学的な根拠に基づき説明できる。 (②)
- (4) 褥瘡、スキナーテア、ストーマ周囲皮膚障害、失禁関連皮膚炎といった皮膚障害の予防やケアを行う上で連携が必要な職種と実践について説明できる。 (②)
- (5) 事例の皮膚障害におけるアセスメントした内容を説明できる。 (②)

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	50%
実習成績	%
レポート	40%
授業態度	5%
小テスト	%
その他（プレゼンテーション）	5%
合計	100%

（特記事項）プレゼンテーションでは、提示の工夫や個々の取り組みについて評価する。

5 教育担当者

科目責任者：浅野 きみ

准 教 授 浅野 きみ（成人看護学）
 准 教 授 宮永 葵子（基礎看護学）
 講 師 金松 瑞代（成人看護学）

6 教育担当者の実務経験

担当教員は看護師としての実務経験を有している。

7 教科書

特に指定しない。講義資料は随時配布する。

8 推薦参考書

日本創傷オストミー失禁管理学会（編）：スキンケアガイドブック、照林社
 田中マキ子（著）：まるわかり褥瘡ケア、照林社
 前川武雄（編）：ドレッシング材のすべて、秀潤社

9 準備学修に必要な時間又は具体的な学修内容

- 1) 授業 1 コマにつき、事前・事後学修として計 180 分程度必要です。
- 2) 講義に関するトピックについて、文献や学会ガイドラインの閲覧、デバイス等についてのウェブサイトを利用した情報収集も求めます。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

課題については、講義時にフィードバックを行います。

11 履修上の注意事項

- 1) 技術演習には、実習時のスタイル（ユニフォーム着用、髪、爪、ナースシューズ）でのぞむこと。ただし、初回 11/4 1 限は講義のため私服で構わない。
- 2) タブレット、スマートフォン、PC のいずれかを持参する。

12 オフィスアワー等

質問は授業時、e-mail、または研究室（原則アポイントメントを取る）で受ける。

浅野（asanok@kanazawa-med.ac.jp）

宮永（aiko3000@kanazawa-med.ac.jp）

金松（nmizuyo@kanazawa-med.ac.jp）

第4学年

皮膚科学看護論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	11月04日(火)	1	講義	健康な皮膚と創傷治癒過程		成人看護学,基礎看護学	浅野准教授
後	2	11月05日(水)	5	講義	機器を用いた皮膚のアセスメント方法	レポート	成人看護学,基礎看護学	宮永准教授,浅野准教授,金松講師
後	3	11月06日(木)	5	講義	スキンーケアの発生メカニズムと最新のケア方法	レポート	成人看護学,基礎看護学	宮永准教授,浅野准教授,金松講師
後	4	11月11日(火)	5	講義	褥瘡の発生メカニズムと最新のケア方法	レポート	成人看護学,基礎看護学	金松講師,宮永准教授,浅野准教授
後	5	11月18日(火)	5	講義	失禁関連皮膚炎の発生メカニズムと最新のケア方法	レポート	成人看護学,基礎看護学	金松講師,宮永准教授,浅野准教授
後	6	11月25日(火)	5	講義	ストーマ周囲皮膚障害の発生メカニズムと最新のケア方法	レポート	成人看護学,基礎看護学	浅野准教授,宮永准教授,金松講師
後	7	11月27日(木)	4	講義	皮膚障害を有する事例へのケア立案	グループワーク	成人看護学,基礎看護学	浅野准教授,宮永准教授,金松講師
後	8(0.5)	11月27日(木)	5	講義	事例のケア方法の発表	プレゼンテーション/ レポート	成人看護学,基礎看護学	浅野准教授,宮永准教授,金松講師